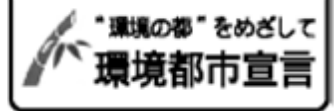


環境の都ニュース

2014. 5. 1 NO. 75



発行：長岡京市
環境の都づくり会議
発行責任者：江川 宗治
編集担当者：山本 雅夫

主婦のできる環境活動

(使用済みてんぷら油回収運動)

使用済みてんぷら油回収運動を始めて約9年になります。私たちの住む京都は、1997年に地球温暖化にストップをかけようと“京都議定書”が定められた地です。その後、温暖化ストップの潮流が世界中に起こり、2006年、ゴア元副大統領の「不都合な真実」の映画が作られたり、今より人々は真剣に地球温暖化防止の課題に取り組んでいたような気がします。私も「地球が悲鳴を上げている」という言葉に心痛み、子供たちにこの美しい地球を、この緑豊かな長岡京を残したいと思うようになりました。

そんな時、使用済みてんぷら油回収運動を知りました。

“燃やせばCO₂を出し、埋めれば土壌汚染になり、流せば水質汚染となる”厄介者の使用済みてんぷら油がBDF（バイオディーゼル燃料）に再生され、車を動かす燃料になるということです。

美装社さんの呼びかけもあり、はじめは滝ノ町の我が家が唯一の回収拠点でしたがその後美装社さん



のご努力もあり賛同してくれる友人知人も増え今は市内の回収拠点が40数箇所に広がっています。

月1回の回収ですが、1000リットル前後集められています。京都市では市バスやごみ収集車など公用車に活用されていますが、本市は廃棄物処理場の法律的な課題があり市の公用車などにはまだ活用されていません。しかし美装社が自社のごみ収集車に活用されています。皆様も「この収集車は使用済みてんぷら油で動いています」というステッカーを張り付けた収集車を見かけられたことがあると思います。

待ったなしの地球温暖化防止を少しでも進めたいとの思いから、今も「使用済みてんぷら油ください」と友人、知人に声をかけ続けています。

西村厚子 (長岡京市環境の都づくり会議会員)



「エコチームは25年度にこのような活動をしました」

「小学生、幼児を対象とした活動」

神足小学校、長岡第六小学校、長岡第十小学校で、放課後子ども教室（すくすく教室）を合計13回開催し、約350人の児童に発電あそび、発電工作など、環境に関連するテーマを楽しんでもらいました。家庭での節電など省エネにつながる効果がありました。

「市民を対象とした活動」

「省エネ相談会」を2回開催し、約100人の方にご家庭の節電など省エネについて相談させていただきました。来場者の中にはすでに素晴らしい省エネ生活を実践されている方々も多く、逆に相談員が学ぶ機会にもなりました。

「京都環境フェスティバル」や「乙訓リサイクルフェア」に参加し、使用済み牛乳パックを使ったリサイクル工作などに約200人の方にご参加いただきました。最近のメディアでは、地球温暖化防止など環境問題に接する機会が少なくなりましたが、26年度も多くの児童や市民の方に環境問題の大切さを発信していきます。

エコチームPJT 田原誠一郎

夏の省エネ対策

- ☆ 冷房は28℃を目安に設定する
- ☆ 緑のカーテンを作って日光をさえぎる
- ☆ 冷蔵庫のドアの開け閉めを減らす
- ☆ 涼しい服装で過ごす
- ☆ 地元でとれた野菜を使う



竹林再生 PJT



今年の筍、大豊作

放置竹林整備で一年間汗を流してきた報酬として頂ける筍のシーズンがやってきました。今年は何の竹藪も豊作で、週2回筍掘りに楽しい汗をかいています。成果は毎回一人15kgぐらいの分配があり笑顔がいっぱいです。一方、長岡公園竹林では「すくすく教室」のほかに、ゆりかご保育園や「花にしき」のボランティア団体にも筍掘り体験をして頂き放置竹林整備に理解を得る活動もしています。

(写真は長岡公園竹林にて)

竹林再生PJT 湯川



花を咲かそうPJT



4/25(金)花を咲かそうPJTの今年度最初の活動をおこないました。

西山体育館2Fの花壇と中央公民館花壇の草取りを行いました。春の花のビオラ(スミレ科)、パンジー(フランスギク科)、ノースポール(スミレ科)、等が可愛く咲き誇っていました。

秋の菊等の芽も出てきており雑草を取り除いてやらないと花が咲くことが出来ないため、今がその時期になっているのです。

参加者10名、今日は汗ばむぐらいの温かい日になりました。

花を咲かそうPJT 湯川



西山の自然観察 ファミタン (西山ファミリー環境探検隊) 参加者大募集

西山森林整備推進協議会主催で環境の都づくり会議などが協力するファミタン (愛称) が今年も始まります。今年で8年目になります。スタッフの他、自然観察指導員の方、京都府立大学ボランティアサークル「森なかま」の学生さんなどと一緒に活動します。楽しい経験ができます。

第1回目 春の西山観察 平成26年5月24日 (土) 9時30分西代橋集合～15時

「春の自然観察一西山の草花を探しにいこう」西山キャンプ場付近。

豚汁します。小学生とその保護者、一人300円

現在募集中 申込先 西山森林整備推進協議会

(市役所環境政策監内) **電話：075-955-9542**

(FAX：075-951-5410)

注) 4月15日付「市民広報」の日程が変更になりました。

今後の予定 市民広報でそのつど募集します・

第2回目 夏の川遊び 7月27日 (日) 小泉川でめいっぱい遊びます。

第3回目 秋の西山観察 10月19日 (日) どんぐり集め。

第4回目 冬の西山観察 平成27年2月8日 (日)

たき火料理 (去年はシカ肉カレーでした)

右写真は昨年第1回の様子

里山再生PJT 加藤



救命講習を受けました

里山再生PJT、竹林整備PJTは西山ファミリー探検隊やすすく教室での方が一に備えて救命講習をうけました。

4月24日 (木) 9時～12時 救命講習受講 乙訓消防署

参加者：13名、内環境の都：6名 (渡辺、湯川、神山、中田、奥西、加藤)、里山再生フォーラム 5名 市役所2名

山や竹藪での事故に備えて、乙訓消防署でビデオ、実技の講習をうけました。心肺蘇生 (胸骨圧迫、人工呼吸) とAEDの使用方法について一人ずつ2回、実際に訓練しました。救急車が来るまで平均7～8分かかるそうです。山や藪では車からさらに歩くので現場まで時間がかかります。意識がない場合はレスキューが来るまで心肺蘇生を続けます。署員の方の適切な指導でだいぶこころ強くなりました。

報告 里山再生PJT 加藤



六小 たけのこ掘り (すすく教室)

4/19 (土) 第六小のすすく教室の子供たち20名、父兄17名、世話役3名の参加により長天竹林公園でタケノコ掘の体験をしてもらいました。スタッフ9名前日まで雨降り心配していましたが、からっと晴れたいい天気恵まれました。竹林にはタケノコがよきよきと顔を出しており収穫は間違いが無いと思えました。

写真右：こどもたちにタケノコの話、掘りかた、安全についての話を聞いてもらい各自道具を持ってタケノコを掘ってもらいました。タケノコが掘れるたびに歓声が上がっていました。一人当たりの収穫は5kg以上あったのではと思います。

ビオトープPJT 小根田



四小 たけのこ掘り (すすく教室)

4/26 (土) 第四小のすすく教室の子供たちのタケノコ掘体験を長天の竹林公園で実施しました。

参加者 子供36名、父兄7名、世話役4名、環境のスタッフ9名

今日も朝から温かい日となりました、タケノコ掘りしたら汗びっしょりになりました。今年最後のすすく教室でのタケノコ掘でしたが、一人当たり5kgほどの収穫になりました。今夜の夕飯はタケノコご飯や、タケノコのステーキと美味しい食事になったことと思います。

(写真左)

ビオトープPJT 小根田



主催：長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館

後援：長岡京市 京都府地域力再生活動入場無料

第73回 環境教育ミーティング

(平成26年度のテーマ：環境と持続可能性)

入場無料

私たちの暮らしと地球の温暖化～IPCC AR5を契機に考える～

日時：平成26年 5月15日(木) 夜7～9時

会場：長岡京市立 中央公民館 2階・講座室

司会：西村 日出男



- ◎長岡京市環境の都づくり会議副代表
- ◎環境教育プロジェクト・リーダー
- ◎IPCC リポート・コミュニケーター
- ◎IPCC に関わる専門家ではない。

Intergovernmental
Panel on
Climate
Change

ミーティングの進行

IPCCリポート コミュニケーター事務局から提供された短編の映像を通して、私たちの暮らしと地球の温暖化について意見を交換します。疑問や要望は事務局を通して環境省等に届けます。

【主な映像】

- 「私たちの暮らしと地球温暖化」
- 「今、何が起きているのか」
- 「科学者インタビュー」
- 「CO2循環のしくみ」
- 「IPCC AR5の舞台裏」

4月13日に、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）第5次評価報告書・第3作業部会報告書（気候変動の緩和）が公表されました。

ミーティング参加者はあらかじめネットによって情報を得てください。私たちに今できることを話し合みましょう。

地球は悲鳴をあげています！！！！

★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内容	連絡先	TEL
里山再生PJT	里山再生	加藤 克巳	951-0933
環境教育PJT	環境教育	西村 日出男	952-3718 FAXも同じ
		E mail : sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp	
エコチームPJT	地球温暖化防止	田原 誠一郎	953-1696
ビオトープPJT	ビオトープ	小根田 勝信	957-4081
花を咲かそうPJT	花を咲かそう	湯川 智子	952-5505
竹林再生PJT	竹林再生	湯川 圭造	090-8759-1757
環境の都づくり会議 代表	活動全般	江川 宗治	957-6169 FAXも同じ
		E mail : egawam@kyoto.zaqa.ne.jp	

事務所：多世代交流ふれあいセンター内 (〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1)

環境の都づくり会議のホームページを作りました。各PJTの活動内容と写真などが有ります。是非ご覧ください。
アドレス＝ <http://kankyonomiyako.jimdo.com/>

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。協賛金：一口年間1000円（一口以上） あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは上記プロジェクトの連絡先へ下さい。

編集後記：安全は直近の大事。健康は生涯の大事。環境は子孫に関わる大事と思い日々の行動で優先順位が高くなる。絶えず意識して行動したい。各PJTの活動は夫々小さな取組みに見えても、環境改善の種をまいて、育てているのだと思います。